

# FUNERAL INFORMATION

葬儀情報紙

2021  
January

Ceremony Support

“いざ”という時の安心のために～はと倶楽部 会員募集中!!

この情報紙に記載されている内容に関しましては、地域の習慣・風習などにより異なる場合があります

1885年創業の信頼と実績

善光寺の鐘が聴こえる

日野岩葬送会館

## 想樹の杜

そうじゆのもり

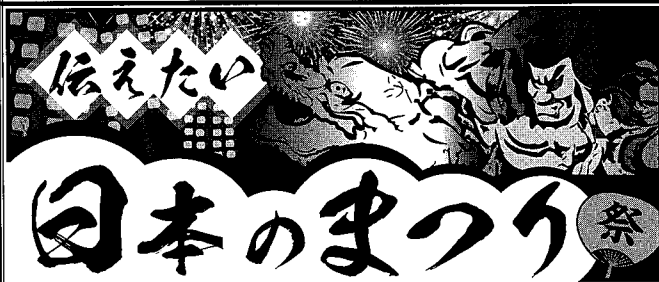
～葬儀・法事の御相談・御依頼は～

026-232-0012

長野市箱清水2-26-14



# 1



能登町のアマメハギ

## アマメハギ

石川県輪島市・能登町

「来訪神」をご存知でしょうか？ 年に一度、異界から訪れ、幸いをもたらすといわれる神です。その神の仮面・仮装をして家々を訪れる伝統的なまつりが日本各地には伝わっています。石川県の能登半島を訪れるのは「アマメハギ」。鬼の面に、糞をつけた子どもたちが、「アマメを作っているものはいないか。アマメ～」と叫びながら、初春の家々を回ります。

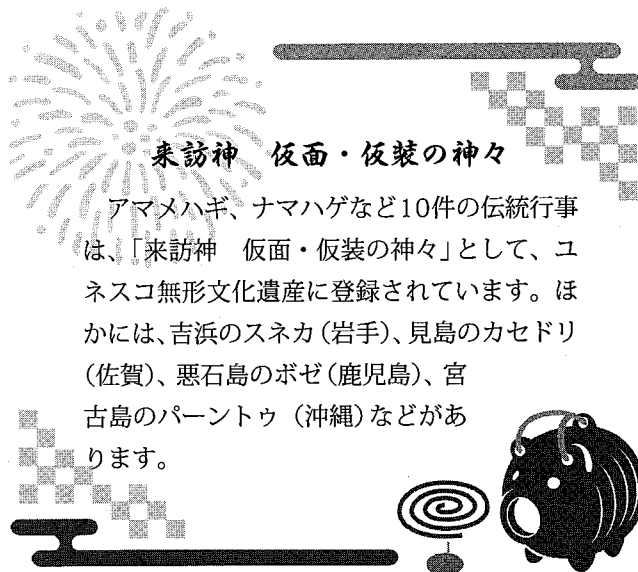
アマメとは、囲炉裏などで長く暖を取っているとできる「火だこ」（皮膚にできる紅斑）のこと。ぬくぬくと火に当たってばかりいる怠け者にはアマメができ、それを剥がしにやってくるのがアマメハギです。つまり、怠けてばかりいることを戒める来訪神で、その手にはアマメを剥がすための包丁が握られています。も

ちろん、現在は紙で作った包丁ですが。

アマメハギが始まったのは、いつ頃からかは定かではありません。類似の行事である秋田県男鹿半島の「ナマハゲ」が200年以上の歴史を持つことから、アマメハギも同じ頃には能登半島に伝わっていたと考えられます。ナマハゲ同様に、異相の来訪神に幼い子どもたちは泣き騒ぎます。そんな体験が子どもを育て、地域に豊穡をもたらししてきたのでしょうか。

今、まつりの担い手不足に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛などで、多くのまつりが危機に瀕しています。日本各地には、伝えていきたいまつりが多くあります。アマメハギもそのひとつ。暖房の効いた部屋でゲームばかりしては、最近の子どもたちにもアマメができてしまうかもしれません。

例年通りであれば、輪島市では1月2日から、隣接する能登町では2月3日にアマメハギがおこなわれます。能登半島の伝統のまつり、ぜひ一度は目にしてみたいですね。



## 来訪神 仮面・仮装の神々

アマメハギ、ナマハゲなど10件の伝統行事は、「来訪神 仮面・仮装の神々」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。ほかには、吉浜のスネカ（岩手）、見島のカセドリ（佐賀）、悪石島のボゼ（鹿児島）、宮古島のパーントウ（沖縄）などがあります。



一度は行きたい

# 神社仏閣廻り

第1回

## 伊勢神宮 外宮～内宮

訪れた人にしか分からない、厳かで神聖な空気感…。誰もが一度は行ってみたいと思う「神社仏閣」をご紹介します。心洗われる歴史、心癒される自然、そしてその地にゆかりの深い名産品などを知って、まずはここで旅気分を味わってみませんか。第一回目は静寂の中に日本人の誇りと尊さを感じることのできる「伊勢神宮」。2016年の伊勢志摩サミット開催で世界的にも注目を集めた「心のふるさと」をぜひご堪能ください。

### ● 伊勢神宮について。

「お伊勢さん」「大神宮さん」と親しまれる日本人の心のふるさと「伊勢神宮」。ひとくりに「伊勢神宮」といっても内宮、外宮、さらに14の別宮、43の摂社、24の末社、42の所管社を合わせたら125社にも及び、エリアは広大です。内宮は皇室の御祖先であり、太陽にも例えられる天照大御神さまをお祀りし、外宮は天照大御神さまのお食事を司り、産業の守り神である豊受大御神さまをお祀りしています。内宮は約2000年、外宮は約1500年の歴史があります。

### ● お伊勢参りは外宮から。

近鉄宇治山田駅から徒歩約10分、JR伊勢市駅から徒歩約5分の外宮からお参りするのが昔からの習わし。別名「おかげまいり」とも呼ばれており、日々を無事に過ごせることへ感謝「おかげさま」の心でお参りするものとされています。また、外宮では約1500年間、毎日二度、欠かすことなく行われているのが「日別朝夕大御饗祭」という祭り。食の神様が祀られている外宮から、内宮に祀られ

ている天照大御神などへ食事をお供えするというもの。太陽の光に感謝し、四季折々の自然に感謝し、食べることで繋いできた命に感謝する。ここは人としての原点を感じることができる壮大な神秘空間なのです。

### ● 外宮（豊受大御宮）へ。

掘川にかかる「火除橋」を渡ればそこからは神域。鳥居をくぐる時は忘れずに一礼をしましょう。第一鳥居側に佇む樹齢約1000年の「清盛楠」を見上げながら、参拝前に「手水舎」でお清めをし、さらに玉砂利の参道を進めば、銅板葺、入母屋造りの建物「外宮神楽殿」が現れます。ここでお札やお守りを授与していただけます。「五丈殿」「九丈殿」「古殿地」が並び、辿り着く先は正宮。衣食住、産業の守護神である豊受大御神をお祀りし、内宮に対して外宮と並び称されています。今から約1500年前、天照大御神のお食事を司る御饗都神として丹波国から現在の地にお迎えされました。二拝二拍手一拝のご作法でお参りしましょう。時間が許せば、勾玉池の辺りに建つ博物館「せんぐう館」や、外宮に所属する四別宮のうち第一に位する「多賀宮」や、地主の神である「土宮」、風雨を司る「風宮」も一見の価値あります。

### ● 内宮（皇大神宮）へ。

五十鈴川にかかる「宇治橋」は内宮の表玄関で日常の世界と神聖な世界を結ぶ架け橋とも言われています。「手水舎」「御手洗場」で身も心も清めたらまずは五十鈴川の守神「瀧祭神」からお参りしましょう。そして「内宮神楽殿」を超えると五重の垣根に囲まれた正宮「皇大神宮」が現れます。皇室の御祖先でもあり太陽にも例えられる天照大御神さまをお祀りする内宮（皇大神宮）は2000年の歴史をもつ日本最尊のお宮です。皇位のしるしとして受け継がれる三種の神器「八咫鏡」を御神体として伊勢の地にお祀りされ、平安末期より広がる伊勢信仰は今なお特別な崇敬を集めています。正宮の北方の小高い地には「荒祭宮」、「内宮神楽殿」前の五十鈴川御橋を渡ると「風日祈宮」といったが別宮が鎮座。「御稻御倉」の佇まいなども必見です。

※山田原にある外宮（豊受大御宮）から宇治の五十鈴の川上にある内宮（皇大神宮）までは歩くと1時間ほど要するのでバスやタクシー移動がおすすめです。

ご当地  
ユラム

## ～「おかげ横丁」で食べ歩き～

天照大御神さまは「伊勢が素晴らしいので、この国にしようと思う」というおかげから伊勢に鎮座しました。その理由としては気候が穏やかで、海の幸、山の幸に恵まれた場所であることが考えられます。このように食との関わりが深い伊勢神宮だからこそその名物、名産品を堪能できるのが「おかげ横丁」。60近くの店舗が軒を連ね、古き良き時代の懐かしい町並みを再現しています。有名な赤福餅や伊勢うどんはもちろん、揚げたてのさつま揚げなど伊勢でしか味わえない出来立ての味をお楽しみいただけます。

# くらしのなかで 脳トレに チャレンジ!



おじいちゃん

定年退職をきっかけに、心身の健康づくりに目覚めた65歳。最近では脳トレに一生懸命。



あかりちゃん

小学5年生の元気な女の子。ちょっと口うるさいけれど、おじいちゃんのことが大好き。

## 【音読で脳の活性化】



「世界保健機関（WHO）は7日、新型コロナウイルスの…」



おじいちゃん、うるさいよ。どうしてそんなに大声を出してるの？



新聞の音読だよ。声に出して文章を読むことで、脳が活性化されるんだって。



そうなの？  
ただ読むだけでも良さそうだけど。



それでもいいんだけどね。でも、読むだけだと、目と脳を使うだけだよ。



音読をして、口も使うほうがいいってこと？



それだけじゃないよ。ほかにも使うところがあるだろ？



どこだろう…？  
あ、耳か！



正解！  
まずは目で見て理解して、声に出して読む。その自分の声を耳で聞くと、脳がより働くんだよ。



へえ、そうなんだ。私も学校で音読をするけど、そういう理由なのかな？



難しい言葉でいうと、前頭前野っていう脳の前にある部分が活発に働いて、記憶力も良くなるらしいよ。



確かに音読すると、その文章が頭に残るもんね。でも、私が学校で読んでいるのは、小説とか詩とかだけだよ。



うん。名作を読むのはおすすめだよ。だけど、新聞の音読には、いいことがたくさんあるんだ。分かるかな？



え〜と、わざわざ本を買わなくていいってこと？



あかりは現実的だなあ（笑）。まあ、それもひとつの理由だけど。



同じ話ばかりじゃ飽きるから、毎日違う話がいいのかな？



そのほうが理由としては大きいな。誰かと会話するときの話題にもなるしね。それに、音読は午前中にしたほうが効果的だっていうから、朝刊はぴったりの素材なんだよ。



でもさ、おじいちゃんの音読の声は、私の耳にも入ってくるでしょ。だったら、明るい話にしたほうがいいんじゃない？



そう言われてみれば、そうだなあ。最近は新聞を読んでいると、暗い気持ちになることが多いから…。



そうだよ。新聞から、明るい話を探すことも大切なんじゃない？



あかりの脳は、よく働くなあ。よし、明日からは明るい記事を音読しよう！



## あらゆる分野での "IoT" を現実にする 最新通信技術 ~ 5G ~

日本では2020年3月に3大キャリアがサービスを開始した「5G (=第5世代移動通信システム)」。今後、徐々にエリアも広がる予定で、様々な場面での活用が期待される最新の通信技術です。

今となっては、どこでも、電話をかけ、撮った写真や動画を送りあったり、リアルタイムでビデオ通話を楽しめ、音楽を聴き、映画を視聴しています。それが当たり前になりすぎて、以前の私たちの生活がどうだったかすっかり忘れてしまっています。

1980年代、第1世代の携帯電話はアナログ通信でした。それが1990年代の第2世代でデジタル通信となり、2000年代の第3世代、さらに日本では2015年からサービスが提供された第4世代と、通信速度が飛躍的に向上しました。以前に比べれば驚くほど写真は大きく美しいものを送れるようになり、動画も随分と視聴しやすくなっています。

さらにその上をいくこれからの5Gの時代。その通信速度は4Gの20倍とも言われていますが、それだけでは

ありません。

人の多いイベント会場で携帯が繋がりにくくなった経験のある方も多いはず。5Gでは、同時接続数が大幅に向上し、こういった不便が解消されます。さらに通信の遅延については、体感できなくなるほどに抑えられるため、よりリアルタイムに近づくのです。

5Gは携帯電話だけに使われるわけではありません。これからのIoT(Internet of Things=モノのインターネット)の時代には、テレビや冷蔵庫、エアコン、自動車など、あらゆるものをインターネットにつなげるため「超高速、超低遅延、つながりやすい」5Gの技術が不可欠なのです。

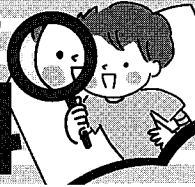
今行われているスポーツゲームを超高画質でリアルタイム観戦体験するVRエンターテインメント、信号や道路状況などあらゆる情報を遅延なく受信することで実現する自動運転、高細密化した画像を使用する遠隔医療、どれもすべて5Gを基盤として成り立つものです。

5Gがつくる「すごい未来」はきっと近いうちにすぐ「当たり前」のものになっていくでしょう。その時の暮らしと、またその先に待っている未来の技術が楽しみです。



葬儀・供養

# あれこれ大百科



## 位牌について。

亡くなられた方の霊魂が宿る場所で、依代となるのが位牌。葬儀の際に急いで用意するものだと思っておられる方もいるかもしれませんが、葬儀では仮の位牌である「白木位牌」が用意されます。その「白木位牌」に僧侶が直書きもしくは戒名紙に戒名を記します。その後、四十九日までに「本位牌」へと作り替えるのが一般的です。また「本位牌」には大きく分けて三つのタイプがあります。一番ポピュラーなのが「塗位牌」で白木に漆を何度も塗り重ね、金箔で飾りをつけたもの。二つ目は、黒檀や紫檀などの高級木材に半透明の透き漆を塗り重ねた「唐木位牌」、三つ目は伝統的な位牌とは異なる素材や製法でデザイン性を重視した「モダン位牌」です。故人の象徴となる位牌だからこそ、しっかり吟味して素敵なお選びください。

## 本位牌には「魂入れ」。

「白木位牌」から「本位牌」へと作り替える際には、「本位牌」に「魂入れ」という儀式が行われます。「白木位牌」は葬儀社が用意してくれることが多いようですが、

「本位牌」はご遺族が用意をする必要があります。葬儀を依頼した葬儀社や仏壇店に依頼し作製してもらうのが一般的ですが、地域や菩提寺によってはお寺が準備することもあるようなので、前もって確認しておきましょう。また「本位牌」の作製には時間を要しますので、早めに注文しておくことも大切です。そして、四十九日法要までには「本位牌」を準備し、「白木位牌」と「本位牌」の両方を持参して「魂入れ」をしてもらいます。

## 夫婦でひとつも可能。

位牌には戒名や命日を記すため、一人に一つの位牌が必要だと思われがちですが、一つの位牌に複数の方を祀ることもできるのです。例えば「夫婦位牌」なら、亡くなられている方の名前を記し、存命の方は空白にしておくことができます。またご先祖様の位牌をまとめて一つにできる「回出位牌」という形式もあります。

## 位牌を作らない宗派。

浄土真宗では魂の依代である位牌は必要ないとされています。その代わりに法名軸や過去帳という帳簿に法名(戒名)や命日、没年令、俗名などを書き記し、仏壇に納めます。浄土真宗にとって仏壇は故人を祀る場所ではなく、阿弥陀如来を安置する場所という位置付けのため位牌は必要としていないのです。



ひのいわ葬祭

葬儀の

## 事前相談 無料

後悔しないお別れのために、ひのいわ葬祭ではひとりでも多くの方に事前相談をおこなっています。いざという時の準備をしっかりと考えてみませんか。

家族葬や親しい身内だけのコンパクト葬にも対応しております。

創業135余年の信頼と実績

日野岩葬送会館

# 想樹の杜

そうじゅのもり

会員制の特別割引サービス



Ceremony Support

はと倶楽部

入会金10,000円

年会費無料



通夜 葬儀 法事

365日

24時間受付

いつでも対応いたします

0120-122-866

〒380-0801 長野市箱清水2-26-14



送迎バス完備

hinoiwa.com

ひのいわ葬祭 検索

